

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	8 静岡県の陸・海・空のネットワークの形成、美しい港湾景観の保全と創造			
計画の期間	平成25年度	～	平成29年度	交付対象 静岡県
計画の目標				

地域経済をささえる物流拠点、港湾利用者の親水空間として、物揚場・道路・緑地 等の整備を行い利便性及び親水性の向上を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・施設の利便性を向上させるため、改良・補修の整備率を21.1% (H25) から26.3% (H29) に増加させる。
- ・良好な港湾環境の形成を図るため、臨港地区に占める緑地面積率を、5.4% (H25) から6.1% (H29) に増加させる。
- ・良好な海岸環境の形成を図るため、親水性のある海岸の整備率を96.9% (H26) から97.7% (H29) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H29末)							
① 施設改良・補修の整備率 (施設整備率) = (施設整備数) / (施設整備必要数) (%)	21.1%		26.3%							
② 臨港地区に占める緑地の面積率 (緑地の面積率) = (整備済み緑地面積) / (臨港地区面積) (%)	5.4%		6.1%							
③ 親水性のある海岸の整備率 (海岸整備率) = (整備済み海岸延長) / (整備必要延長) (%)	96.9%		97.7%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,171 百万円	A	2,648 百万円	B	0 百万円	C	523 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ										
第2期 (H20～H24)					第3期 (H25～H29)					
分野名					分野名	陸・海・空の交通ネットワーク機能の拡充				
目標名					目標名	港湾機能の強化				
指標名				目標値 (H24)		指標名	県内企業の競争力を強化するコンテナターミナル等 (埠頭用地) 面積の整備率		目標値 (H29)	100%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -:その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業																		
A1 港湾事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
1-A1-3	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	改良	泊地 (埋没)	面積 A=43,000m3	田子の浦港・港内地区						1,500	○	
1-A1-5	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	建設	緑地	面積 A=6.1ha	田子の浦港・港口地区						230	○	
1-A1-6	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	建設	緑地	面積 A=4.6ha	田子の浦港・吉原地区						128	-	移行
1-A1-7	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	建設	緑地	人工海浜、緑地A=2.8ha	清水港・新興津地区						50	△	H35
1-A1-9	海岸	内地	静岡県	直接	-	環境	建設	熱海港海岸海岸環境整備事業	堤防(改良)L=90m、離岸堤(改良)L=50m	熱海港海岸・渚地区						360	-	移行
1-A1-10	海岸	内地	静岡県	直接	-	環境	建設	榛原港海岸海岸環境整備事業	護岸L=150m、遊離路N=1式、堤防A=1000㎡	榛原港海岸・静波地区						120	-	移行
1-A1-11	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	建設	道路	延長 L=300m	清水港・新興津地区						200	○	
1-A1-12	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	建設	緑地	面積 A=0.56ha	清水港・日の出地区						60	○	
											合計	2,648						

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
										合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
1-C1-1	施設整備	内地	静岡県	直接	—	建設	交流拠点・歴史的教育施設整備事業	交流拠点・歴史的教育施設整備事業	田子の浦港・港口地区						428	○	
1-C1-2	計画・調査	内地	静岡県	直接	—	調査	港湾整備運営プロジェクト策定調査	港湾整備運営プロジェクト策定	全県(駿河湾港)						95	○	
										合計					523		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C1-1	環境事業(1-A1-5)と一体的に整備し、地域の特性及び歴史を発信する場として港の賑わいを創出する。														
1-C1-2	港湾事業(1-A'1-1)等と併せ、新たな駿河湾港の整備運営プロジェクトを策定し、県内港湾の利用促進を図る。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

その他関連する事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
1-A'1-1	港湾	内地	静岡県	直接	—	拠点	建設	防波堤	延長 L=400m	清水港・新興津地区						1,361	—	移行
1-A'1-2	港湾	内地	静岡県	直接	—	拠点	建設	物揚場	延長 L=715m	清水港・新興津地区						796	—	移行
(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業																		
(別添「事業実施計画」参照)																		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況**

- ・清水港新興津地区の道路を新設し、港湾施設としての機能を向上させた。
- ・良好な港湾環境の形成を図るため、緑地の整備を進め、清水港新興津地区に新たに緑地を供用した。また、田子の浦港において、港口地区の交流拠点・歴史的教育施設整備を供用させた。（新興津地区緑地供用 H26.7、田子の浦港 港口地区 交流拠点・歴史的教育施設供用 H30.2）
- ・良好な海岸環境の形成を図るため、熱海港海岸の渚地区において、海岸防護機能の確保とともに海岸利用の向上を図ることを目的とした堤防の改良を実施した。榛原港海岸においては、夏場に多くの海水浴客が訪れる静波地区において、来訪者の憩いの場としての機能と津波来襲時に、防潮堤背後へ円滑に避難ができる機能を兼ね備えた緑地広場の整備を推進した。

II 定量的指標の達成状況	指標①（施設の利便性を向上させるため、改良・補修の整備率を21.1%（H25）から26.3%（H29）に増加させる。）	最終目標値	26.3%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的に事業を実施したことにより、改良・補修の整備率を目標値どおり増加させることができた。
		最終実績値	26.3%		
	指標②（良好な港湾環境の形成を図るため、臨港地区に占める緑地面積率を、5.4%（H25）から6.1%（H29）に増加させる。）	最終目標値	6.1%	目標値と実績値に差が出た要因	・清水港や田子の浦港において緑地整備の進捗を図ったが、清水港新興津地区の緑地整備について、コンテナターミナル背後の一部の緑地は早期供用することができたが、早期に埋立土砂の受入環境が整った人工海浜背後の海浜護岸整備を重点事業として優先して実施することになったため、当初の計画区域の緑地の供用までは至らなかった。
		最終実績値	6.0%		
	指標③（良好な海岸環境の形成を図るため、親水性のある海岸の整備率を96.9%（H26）から97.7%（H29）に増加させる。）	最終目標値	97.7%	目標値と実績値に差が出た要因	・熱海港海岸と榛原港海岸において、親水性のある海岸の整備を進めていたが、予算の確保が困難であったため、計画の達成には至らなかった。（計画事業費：480百万に対して実績：108百万）
		最終実績値	96.9%		

**III 定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況
(必要に応じて記述)**

- ・田子の浦港において、潤井川からの流下土砂の港内への流入減少のため、沈砂池及び港内の浚渫を行い、港湾機能の確保を行った。

3. 特記事項（今後の方針等）

港湾は地域経済を支える物流拠点として重要な役割を担っており、引き続き、港湾施設の整備による陸・海・空のネットワークの形成による物流拠点としての利便性の向上や良好な港湾環境の形成による親水性の向上に取り組んでいく。

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	8 静岡県の陸・海・空のネットワークの形成、美しい港湾景観の保全と創造		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5箇年)	交付対象	静岡県

